

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成24年11月21日
【四半期会計期間】	第128期第3四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	株式会社ニチリン
【英訳名】	NICHIRIN CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 清水 良雄
【本店の所在の場所】	神戸市中央区江戸町98番地1 （同所は登記上の本店所在地で実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。）
【電話番号】	（079）252-4151（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 森本 幾雄
【最寄りの連絡場所】	兵庫県姫路市別所町佐土1118番地（姫路工場）
【電話番号】	（079）252-4151（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 森本 幾雄
【縦覧に供する場所】	株式会社ニチリン東京支社 （東京都港区芝浦一丁目3番11号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社内部監査室の監査において、当社の連結子会社であるニチリン テネシー インク（米国 テネシー州 ルイスバーク市：以下NNT社）において、不適切な会計処理が行われていたことが判明し、当社の連結業績に影響を与えることが明らかになりました。

このため、当社は平成24年9月3日に社内調査チーム（委員長 代表取締役社長 清水良雄）を編成し、その調査を経て、平成24年9月28日に調査委員会（委員長 木下卓男（弁護士））を設置し、本件に関する事実関係（過年度決算への影響を含む）の調査・解明に着手してまいりました。

調査委員会による調査により、NNT社の平成23年第4四半期から平成24年第2四半期において棚卸資産に計上した金額については、在庫数量を操作することにより実際の在庫金額よりも過大に計上していることが明らかとなり、同社の会計処理が適切でないことが分かりました。

この調査結果に基づき、当社は過年度における棚卸しデータの再計算を行ったうえで実在庫有高を算定しました。

その結果、在庫数量の不正操作はありませんでしたが、会計処理の誤謬（仕入の計上基準の誤り、および在庫締め手順の誤り）が判明したため、四半期連結財務諸表の訂正が必要となりましたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、平成23年11月11日に提出いたしました第128期第3四半期（自平成23年7月1日 至平成23年9月30日）に係る四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所につき、XBRLデータの訂正を行いましたので、併せて訂正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を関連書類として提出いたします。

訂正後の四半期連結財務諸表については、有限責任監査法人トーマツにより、改めて四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

1 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

(2) キャッシュ・フローの状況

第5 経理の状況

2 監査証明について

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書

第3 四半期連結累計期間

第3 四半期連結会計期間

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所には__線を表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第127期 第3四半期 連結累計期間	第128期 第3四半期 連結累計期間	第127期 第3四半期 連結会計期間	第128期 第3四半期 連結会計期間	第127期
会計期間	自平成22年 1月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 1月1日 至平成23年 9月30日	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日	自平成22年 1月1日 至平成22年 12月31日
売上高 (千円)	26,998,972	23,979,601	9,067,014	8,372,026	36,298,651
経常利益 (千円)	1,265,506	<u>409,484</u>	272,886	<u>218,830</u>	1,690,325
四半期(当期)純利益 (千円)	811,437	<u>132,745</u>	197,148	<u>251,763</u>	880,883
純資産額 (千円)	-	-	10,239,007	<u>9,837,067</u>	10,326,054
総資産額 (千円)	-	-	30,517,355	<u>28,473,778</u>	30,430,408
1株当たり純資産額 (円)	-	-	1,062.73	<u>995.90</u>	1,069.51
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	90.25	<u>14.76</u>	21.93	<u>28.01</u>	97.98
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-	-	-
自己資本比率 (%)	-	-	31.3	<u>31.4</u>	31.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,556,044	786,236	-	-	1,499,200
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,006,735	281,541	-	-	1,151,614
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	747,383	220,973	-	-	564,170
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	-	-	4,883,714	3,081,586	4,481,554
従業員数 (人)	-	-	1,366	1,345	1,300

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(訂正後)

回次	第127期 第3四半期 連結累計期間	第128期 第3四半期 連結累計期間	第127期 第3四半期 連結会計期間	第128期 第3四半期 連結会計期間	第127期
会計期間	自平成22年 1月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 1月1日 至平成23年 9月30日	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日	自平成22年 1月1日 至平成22年 12月31日
売上高 (千円)	26,998,972	23,979,601	9,067,014	8,372,026	36,298,651
経常利益 (千円)	1,265,506	304,854	272,886	131,268	1,690,325
四半期(当期)純利益 (千円)	811,437	69,774	197,148	198,974	880,883
純資産額 (千円)	-	-	10,239,007	9,777,550	10,326,054
総資産額 (千円)	-	-	30,517,355	28,438,467	30,430,408
1株当たり純資産額 (円)	-	-	1,062.73	989.27	1,069.51
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	90.25	7.76	21.93	22.13	97.98
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-	-	-
自己資本比率 (%)	-	-	31.3	31.3	31.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,556,044	786,236	-	-	1,499,200
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,006,735	281,541	-	-	1,151,614
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	747,383	220,973	-	-	564,170
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	-	-	4,883,714	3,081,586	4,481,554
従業員数 (人)	-	-	1,366	1,345	1,300

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

(訂正前)

当第3四半期連結会計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	前年同四半期比(%)
日本(千円)	5,385,963	-
北米(千円)	<u>1,669,922</u>	-
中国(千円)	1,125,786	-
アジア(千円)	278,763	-
欧州(千円)	177,484	-
合計(千円)	<u>8,637,919</u>	-

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(訂正後)

当第3四半期連結会計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	前年同四半期比(%)
日本(千円)	5,385,963	-
北米(千円)	<u>1,605,482</u>	-
中国(千円)	1,125,786	-
アジア(千円)	278,763	-
欧州(千円)	177,484	-
合計(千円)	<u>8,573,479</u>	-

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

(1) 業績の状況

当第3四半期連結会計期間(平成23年7月1日～平成23年9月30日)における世界経済は、米国経済の減速や欧州における財政・金融危機がさらに深刻化し、また、内需拡大により堅調に推移していた中国・インド・アセアン地域の経済においてもインフレや欧米経済低迷の影響を受け、先行き不透明感が一段と強まっております。

我が国においても、東日本大震災により低迷していた経済は、その後、サプライチェーンの復旧が早期に進んだことから生産活動は持ち直し、景気は回復基調にあるものの、欧米経済の低迷や、円高による輸出環境の悪化および個人消費の停滞など、依然として厳しい状況が続いております。

当社グループの主要事業分野である日本自動車業界の状況は次のとおりであります。

東日本大震災の影響で急減していた自動車工業会の生産は、サプライチェーンの早期復旧により、震災前の水準近くにまで回復しました。また、原発事故にともなう大幅な節電要請に対応するため、勤務体制の変更(土日操業、木金休業)による節電対策を行い、稼働率を低下させることなく生産活動を維持しました。

この結果、当第3四半期連結会計期間における国内四輪車販売台数は前年同期比15.8%減の116万台、四輪車輸出台数は前年同期比4.2%増の125万台となり、結果、国内四輪車生産台数は前年同期比を4.3%下回る水準の237万台にまで回復しました。一方、国内乗用車メーカー8社の海外生産台数は、生産挽回に向けた増産により前年同期比4.0%増の333万台となりました。

このような環境のなか、当第3四半期連結会計期間の連結売上高は8,372百万円(前年同期9,067百万円)、営業利益は255百万円(前年同期318百万円)、経常利益は218百万円(前年同期272百万円)、四半期純利益は251百万円(前年同期197百万円)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用したことに伴い、セグメントの区分を以下のように変更しております。

(今回)報告セグメント : 「日本」、「北米」、「中国」、「アジア」、「欧州」

(従来)所在地別セグメント : 「日本」、「北米」、「アジア」、「その他(欧州)」

日本

サプライチェーンの回復により、売上高は6,736百万円(前年同期7,012百万円)となりました。利益面は、コスト削減に努めましたが、一層の円高により営業利益54百万円(前年同期81百万円)となりました。

北米

震災や換算時の円高による影響により、売上高は1,598百万円(前年同期1,930百万円)となりました。利益面は、子会社再編の効果等により、営業利益は50百万円(前年同期18百万円)となりました。

中国

震災の影響による日本からの材料供給の停滞の影響もあり、売上高は1,517百万円、営業利益は141百万円となりました。

アジア

アセアン地域の経済は概ね堅調に推移しており、売上高は318百万円、営業利益は23百万円となりました。なお、ベトナム子会社(ニチリン ベトナム カンパニー リミテッド)はブレーキホースの管体生産を本格的に開始し、また、インド販売子会社(ニチリン オートパーツ インディア プライベート リミテッド)も売上を拡大しております。

欧州

震災の影響により、売上高は169百万円(前年同期196百万円)となりました。利益面は、固定費等の削減に努めましたが、営業損失は6百万円(前年同期4百万円)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、第2四半期連結会計期間末に比べ758百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末は3,081百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は808百万円の減少(前年同期比958百万円収入が減少)となりました。これは主に、税金当調整前四半期純利益338百万円(資金の増加)、減価償却費240百万円(資金の増加)、賞与引当金の増加148百万円(資金の増加)、固定資産売却益130百万円(資金の増加)、売上債権の増加1,004百万円(資金の減少)、たな卸資産の増加276百万円(資金の減少)、仕入債務の増加291百万円(資金の増加)、法人税等の支払額31百万円(資金の減少)等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は115百万円の増加(前年同期比220百万円収入が増加)となりました。これは主に、有形固定資産の取得257百万円(資金の減少)、有形固定資産の売却376百万円(資金の増加)等によるものであります。

(財務活動によりキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は53百万円の増加(前年同期比336百万円収入が増加)となりました。これは、借入金の純減少127百万円(資金の減少)、少数株主からの払込み234百万円(資金の増加)、配当金の支払い53百万円(資金の減少)によるものであります。

(訂正後)

(1) 業績の状況

当第3四半期連結会計期間(平成23年7月1日～平成23年9月30日)における世界経済は、米国経済の減速や欧州における財政・金融危機がさらに深刻化し、また、内需拡大により堅調に推移していた中国・インド・アセアン地域の経済においてもインフレや欧米経済低迷の影響を受け、先行き不透明感が一段と強まっております。

我が国においても、東日本大震災により低迷していた経済は、その後、サプライチェーンの復旧が早期に進んだことから生産活動は持ち直し、景気は回復基調にあるものの、欧米経済の低迷や、円高による輸出環境の悪化および個人消費の停滞など、依然として厳しい状況が続いております。

当社グループの主要事業分野である日本自動車業界の状況は次のとおりであります。

東日本大震災の影響で急減していた自動車工業会の生産は、サプライチェーンの早期復旧により、震災前の水準近くにまで回復しました。また、原発事故にともなう大幅な節電要請に対応するため、勤務体制の変更(土日操業、木金休業)による節電対策を行い、稼働率を低下させることなく生産活動を維持しました。

この結果、当第3四半期連結会計期間における国内四輪車販売台数は前年同期比15.8%減の116万台、四輪車輸出台数は前年同期比4.2%増の125万台となり、結果、国内四輪車生産台数は前年同期比を4.3%下回る水準の237万台にまで回復しました。一方、国内乗用車メーカー8社の海外生産台数は、生産挽回に向けた増産により前年同期比4.0%増の333万台となりました。

このような環境のなか、当第3四半期連結会計期間の連結売上高は8,372百万円(前年同期9,067百万円)、営業利益は167百万円(前年同期318百万円)、経常利益は131百万円(前年同期272百万円)、四半期純利益は198百万円(前年同期197百万円)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用したことに伴い、セグメントの区分を以下のように変更しております。

(今回)報告セグメント : 「日本」、「北米」、「中国」、「アジア」、「欧州」

(従来)所在地別セグメント : 「日本」、「北米」、「アジア」、「その他(欧州)」

日本

サプライチェーンの回復により、売上高は6,736百万円(前年同期7,012百万円)となりました。利益面は、コスト削減に努めましたが、一層の円高により営業利益54百万円(前年同期81百万円)となりました。

北米

震災や換算時の円高による影響により、売上高は1,598百万円(前年同期1,930百万円)となりました。利益面は、売上高の減少の影響により営業損失36百万円(前年同期 営業利益18百万円)となりました。

中国

震災の影響による日本からの材料供給の停滞の影響もあり、売上高は1,517百万円、営業利益は141百万円となりました。

アジア

アセアン地域の経済は概ね堅調に推移しており、売上高は318百万円、営業利益は23百万円となりました。なお、ベトナム子会社(ニチリン ベトナム カンパニー リミテッド)はブレーキホースの管体生産を本格的に開始し、また、インド販売子会社(ニチリン オートパーツ インディア プライベート リミテッド)も売上を拡大しております。

欧州

震災の影響により、売上高は169百万円(前年同期196百万円)となりました。利益面は、固定費等の削減に努めましたが、営業損失は6百万円(前年同期4百万円)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、第2四半期連結会計期間末に比べ758百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末は3,081百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は808百万円の減少(前年同期比958百万円収入が減少)となりました。これは主に、税金当調整前四半期純利益251百万円(資金の増加)、減価償却費240百万円(資金の増加)、賞与引当金の増加148百万円(資金の増加)、固定資産売却益130百万円(資金の増加)、売上債権の増加1,004百万円(資金の減少)、たな卸資産の増加246百万円(資金の減少)、仕入債務の増加348百万円(資金の増加)、法人税等の支払額31百万円(資金の減少)等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は115百万円の増加(前年同期比220百万円収入が増加)となりました。これは主に、有形固定資産の取得257百万円(資金の減少)、有形固定資産の売却376百万円(資金の増加)等によるものであります。

(財務活動によりキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は53百万円の増加(前年同期比336百万円収入が増加)となりました。これは、借入金の純減少127百万円(資金の減少)、少数株主からの払込み234百万円(資金の増加)、配当金の支払い53百万円(資金の減少)によるものであります。

第5【経理の状況】

2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成22年7月1日から平成22年9月30日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成22年1月1日から平成22年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成23年1月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成22年7月1日から平成22年9月30日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成22年1月1日から平成22年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成23年1月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の第128期第3四半期に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受け、改めて四半期レビュー報告書を受領しております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,158,530	4,644,369
受取手形及び売掛金	6,670,748	6,972,215
商品及び製品	<u>1,669,041</u>	1,282,782
仕掛品	<u>1,702,112</u>	1,642,705
原材料及び貯蔵品	<u>800,675</u>	657,581
繰延税金資産	208,852	189,708
その他	<u>970,201</u>	1,063,701
貸倒引当金	40,361	47,149
流動資産合計	<u>15,139,800</u>	16,405,912
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,436,504	6,885,829
減価償却累計額	4,130,571	4,321,088
建物及び構築物(純額)	<u>2,305,933</u>	<u>2,564,740</u>
機械装置及び運搬具	12,584,064	12,644,964
減価償却累計額	9,900,740	10,344,027
機械装置及び運搬具(純額)	<u>2,683,324</u>	<u>2,300,937</u>
土地	3,511,739	3,523,732
その他	2,288,895	2,234,355
減価償却累計額	2,112,862	2,042,186
その他(純額)	<u>176,032</u>	<u>192,169</u>
建設仮勘定	302,511	567,499
有形固定資産合計	<u>8,979,540</u>	<u>9,149,079</u>
無形固定資産		
のれん	9,362	28,080
その他	183,302	191,007
無形固定資産合計	<u>192,665</u>	<u>219,088</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	2,673,945	3,144,807
繰延税金資産	<u>932,581</u>	920,345
その他	574,034	610,648
貸倒引当金	18,788	19,472
投資その他の資産合計	<u>4,161,772</u>	<u>4,656,328</u>
固定資産合計	<u>13,333,977</u>	<u>14,024,495</u>
資産合計	<u>28,473,778</u>	<u>30,430,408</u>

(単位：千円)

前連結会計年度末に係る

当第3四半期連結会計期間末
(平成23年9月30日)

要約連結貸借対照表
(平成22年12月31日)

負債の部

流動負債

支払手形及び買掛金	6,497,288	7,284,108
短期借入金	294,255	324,522
1年内返済予定の長期借入金	1,595,388	1,550,303
未払法人税等	69,379	123,956
繰延税金負債	4,667	3,841
賞与引当金	222,098	75,718
その他	1,207,114	1,456,023
流動負債合計	<u>9,890,192</u>	<u>10,818,474</u>

固定負債

長期借入金	3,656,994	3,906,771
再評価に係る繰延税金負債	1,094,202	1,094,202
繰延税金負債	<u>18,843</u>	26,313
退職給付引当金	3,383,245	3,564,241
役員退職慰労引当金	154,145	166,740
負ののれん	4,553	7,374
その他	434,532	520,235
固定負債合計	<u>8,746,518</u>	<u>9,285,879</u>

負債合計

	<u>18,636,711</u>	<u>20,104,353</u>
--	-------------------	-------------------

純資産の部

株主資本

資本金	1,729,000	1,729,000
資本剰余金	1,655,608	1,655,608
利益剰余金	<u>5,833,060</u>	5,824,269
自己株式	6,509	6,062
株主資本合計	<u>9,211,158</u>	<u>9,202,815</u>

評価・換算差額等

その他有価証券評価差額金	473,140	694,108
土地再評価差額金	1,600,878	1,600,878
為替換算調整勘定	<u>2,333,973</u>	1,883,894
評価・換算差額等合計	<u>259,955</u>	<u>411,092</u>

少数株主持分

	885,863	712,145
--	---------	---------

純資産合計

	<u>9,837,067</u>	<u>10,326,054</u>
--	------------------	-------------------

負債純資産合計

	<u>28,473,778</u>	<u>30,430,408</u>
--	-------------------	-------------------

(訂正後)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,158,530	4,644,369
受取手形及び売掛金	6,670,748	6,972,215
商品及び製品	<u>1,608,436</u>	1,282,782
仕掛品	<u>1,667,042</u>	1,642,705
原材料及び貯蔵品	<u>840,209</u>	657,581
繰延税金資産	208,852	189,708
その他	<u>967,918</u>	1,063,701
貸倒引当金	40,361	47,149
流動資産合計	<u>15,081,377</u>	16,405,912
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,436,504	6,885,829
減価償却累計額	4,130,571	4,321,088
建物及び構築物(純額)	<u>2,305,933</u>	2,564,740
機械装置及び運搬具	12,584,064	12,644,964
減価償却累計額	9,900,740	10,344,027
機械装置及び運搬具(純額)	<u>2,683,324</u>	2,300,937
土地	3,511,739	3,523,732
その他	2,288,895	2,234,355
減価償却累計額	2,112,862	2,042,186
その他(純額)	<u>176,032</u>	192,169
建設仮勘定	302,511	567,499
有形固定資産合計	<u>8,979,540</u>	9,149,079
無形固定資産		
のれん	9,362	28,080
その他	183,302	191,007
無形固定資産合計	<u>192,665</u>	219,088
投資その他の資産		
投資有価証券	2,673,945	3,144,807
繰延税金資産	<u>955,693</u>	920,345
その他	574,034	610,648
貸倒引当金	18,788	19,472
投資その他の資産合計	<u>4,184,884</u>	4,656,328
固定資産合計	<u>13,357,090</u>	14,024,495
資産合計	<u>28,438,467</u>	30,430,408

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,540,338	7,284,108
短期借入金	294,255	324,522
1年内返済予定の長期借入金	1,595,388	1,550,303
未払法人税等	69,379	123,956
繰延税金負債	4,667	3,841
賞与引当金	222,098	75,718
その他	1,207,114	1,456,023
流動負債合計	<u>9,933,242</u>	<u>10,818,474</u>
固定負債		
長期借入金	3,656,994	3,906,771
再評価に係る繰延税金負債	1,094,202	1,094,202
繰延税金負債	—	26,313
退職給付引当金	3,383,245	3,564,241
役員退職慰労引当金	154,145	166,740
負ののれん	4,553	7,374
その他	434,532	520,235
固定負債合計	<u>8,727,674</u>	<u>9,285,879</u>
負債合計	<u>18,660,917</u>	<u>20,104,353</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,729,000	1,729,000
資本剰余金	1,655,608	1,655,608
利益剰余金	<u>5,770,089</u>	<u>5,824,269</u>
自己株式	6,509	6,062
株主資本合計	<u>9,148,187</u>	<u>9,202,815</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	473,140	694,108
土地再評価差額金	1,600,878	1,600,878
為替換算調整勘定	<u>2,330,519</u>	<u>1,883,894</u>
評価・換算差額等合計	<u>256,501</u>	<u>411,092</u>
少数株主持分	885,863	712,145
純資産合計	<u>9,777,550</u>	<u>10,326,054</u>
負債純資産合計	<u>28,438,467</u>	<u>30,430,408</u>

(2)【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
売上高	26,998,972	23,979,601
売上原価	22,638,905	20,563,844
売上総利益	4,360,067	3,415,756
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	918,517	855,659
貸倒引当金繰入額	-	10
役員報酬	144,177	156,391
役員退職慰労引当金繰入額	24,045	15,005
給料及び手当	759,290	817,309
賞与引当金繰入額	89,081	75,585
退職給付費用	44,318	45,573
法定福利費	122,012	129,955
旅費及び交通費	108,294	109,278
租税公課	56,710	49,558
賃借料	98,558	98,773
減価償却費	65,265	53,426
のれん償却額	18,717	18,717
その他	642,411	619,013
販売費及び一般管理費合計	3,091,402	3,044,258
営業利益	1,268,665	371,498
営業外収益		
受取利息	9,945	11,200
受取配当金	21,605	26,770
負ののれん償却額	3,533	2,820
持分法による投資利益	134,295	110,511
助成金収入	-	44,696
その他	112,770	55,806
営業外収益合計	282,149	251,806
営業外費用		
支払利息	81,277	82,535
為替差損	178,510	86,431
その他	25,519	44,853
営業外費用合計	285,308	213,820
経常利益	1,265,506	409,484

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	142	131,979
貸倒引当金戻入額	3,705	5,104
投資有価証券売却益	-	7,660
負ののれん発生益	3,630	-
特別利益合計	7,477	144,743
特別損失		
固定資産売却損	-	976
固定資産除却損	10,338	17,348
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	5,130
持分変動損失	-	8,032
特別損失合計	10,338	31,488
税金等調整前四半期純利益	1,262,645	522,740
法人税、住民税及び事業税	311,572	213,006
法人税等調整額	11,890	93,237
法人税等合計	323,463	306,244
少数株主損益調整前四半期純利益	-	216,495
少数株主利益	127,744	83,749
四半期純利益	811,437	132,745

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
売上高	26,998,972	23,979,601
売上原価	22,638,905	<u>20,668,473</u>
売上総利益	4,360,067	<u>3,311,127</u>
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	918,517	855,659
貸倒引当金繰入額	-	10
役員報酬	144,177	156,391
役員退職慰労引当金繰入額	24,045	15,005
給料及び手当	759,290	817,309
賞与引当金繰入額	89,081	75,585
退職給付費用	44,318	45,573
法定福利費	122,012	129,955
旅費及び交通費	108,294	109,278
租税公課	56,710	49,558
賃借料	98,558	98,773
減価償却費	65,265	53,426
のれん償却額	18,717	18,717
その他	642,411	619,013
販売費及び一般管理費合計	<u>3,091,402</u>	<u>3,044,258</u>
営業利益	1,268,665	<u>266,869</u>
営業外収益		
受取利息	9,945	11,200
受取配当金	21,605	26,770
負ののれん償却額	3,533	2,820
持分法による投資利益	134,295	110,511
助成金収入	-	44,696
その他	112,770	55,806
営業外収益合計	<u>282,149</u>	<u>251,806</u>
営業外費用		
支払利息	81,277	82,535
為替差損	178,510	86,431
その他	25,519	44,853
営業外費用合計	<u>285,308</u>	<u>213,820</u>
経常利益	1,265,506	<u>304,854</u>

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	142	131,979
貸倒引当金戻入額	3,705	5,104
投資有価証券売却益	-	7,660
負ののれん発生益	3,630	-
特別利益合計	7,477	144,743
特別損失		
固定資産売却損	-	976
固定資産除却損	10,338	17,348
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	5,130
持分変動損失	-	8,032
特別損失合計	10,338	31,488
税金等調整前四半期純利益	1,262,645	418,110
法人税、住民税及び事業税	311,572	215,407
法人税等調整額	11,890	49,178
法人税等合計	323,463	264,585
少数株主損益調整前四半期純利益	-	153,524
少数株主利益	127,744	83,749
四半期純利益	811,437	69,774

【第3四半期連結会計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
売上高	9,067,014	8,372,026
売上原価	7,694,638	<u>7,080,013</u>
売上総利益	1,372,375	<u>1,292,013</u>
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	321,757	290,579
貸倒引当金繰入額	-	6,392
役員報酬	50,590	56,451
役員退職慰労引当金繰入額	11,335	6,665
給料及び手当	228,830	250,951
賞与引当金繰入額	35,742	43,226
退職給付費用	14,545	14,918
法定福利費	40,893	42,909
旅費及び交通費	34,940	33,716
租税公課	16,109	15,490
賃借料	35,662	31,545
減価償却費	16,960	11,710
のれん償却額	6,239	6,239
その他	240,570	225,754
販売費及び一般管理費合計	1,054,177	1,036,550
営業利益	318,198	<u>255,462</u>
営業外収益		
受取利息	2,099	1,388
受取配当金	7,443	8,991
負ののれん償却額	940	940
持分法による投資利益	43,580	33,536
助成金収入	-	16,573
その他	13,507	6,075
営業外収益合計	67,571	67,505
営業外費用		
支払利息	26,753	27,771
為替差損	79,587	62,445
その他	6,541	13,921
営業外費用合計	112,882	104,138
経常利益	272,886	<u>218,830</u>

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	-	131,848
貸倒引当金戻入額	633	-
特別利益合計	633	131,848
特別損失		
固定資産売却損	2	896
固定資産除却損	5,681	2,768
持分変動損失	-	8,032
特別損失合計	5,684	11,697
税金等調整前四半期純利益	267,835	338,980
法人税、住民税及び事業税	73,902	58,249
法人税等調整額	38,236	13
法人税等合計	35,666	58,235
少数株主損益調整前四半期純利益	-	280,745
少数株主利益	35,020	28,981
四半期純利益	197,148	251,763

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
売上高	9,067,014	8,372,026
売上原価	7,694,638	<u>7,167,574</u>
売上総利益	1,372,375	<u>1,204,451</u>
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	321,757	290,579
貸倒引当金繰入額	-	6,392
役員報酬	50,590	56,451
役員退職慰労引当金繰入額	11,335	6,665
給料及び手当	228,830	250,951
賞与引当金繰入額	35,742	43,226
退職給付費用	14,545	14,918
法定福利費	40,893	42,909
旅費及び交通費	34,940	33,716
租税公課	16,109	15,490
賃借料	35,662	31,545
減価償却費	16,960	11,710
のれん償却額	6,239	6,239
その他	240,570	225,754
販売費及び一般管理費合計	<u>1,054,177</u>	<u>1,036,550</u>
営業利益	318,198	<u>167,901</u>
営業外収益		
受取利息	2,099	1,388
受取配当金	7,443	8,991
負ののれん償却額	940	940
持分法による投資利益	43,580	33,536
助成金収入	-	16,573
その他	13,507	6,075
営業外収益合計	<u>67,571</u>	<u>67,505</u>
営業外費用		
支払利息	26,753	27,771
為替差損	79,587	62,445
その他	6,541	13,921
営業外費用合計	<u>112,882</u>	<u>104,138</u>
経常利益	272,886	<u>131,268</u>

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	-	131,848
貸倒引当金戻入額	633	-
特別利益合計	633	131,848
特別損失		
固定資産売却損	2	896
固定資産除却損	5,681	2,768
持分変動損失	-	8,032
特別損失合計	5,684	11,697
税金等調整前四半期純利益	267,835	251,418
法人税、住民税及び事業税	73,902	57,637
法人税等調整額	38,236	34,174
法人税等合計	35,666	23,462
少数株主損益調整前四半期純利益	-	227,956
少数株主利益	35,020	28,981
四半期純利益	197,148	198,974

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】
(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,262,645	522,740
減価償却費	738,472	690,642
賞与引当金の増減額(は減少)	231,114	146,381
退職給付引当金の増減額(は減少)	890,414	180,185
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	7,305	12,595
受取利息及び受取配当金	31,551	37,971
支払利息	81,277	82,535
固定資産売却損益(は益)	142	131,002
固定資産除却損	10,338	17,348
投資有価証券売却損益(は益)	-	7,660
持分変動損益(は益)	-	8,032
のれん償却額	18,717	18,717
負ののれん償却額	3,533	2,820
負ののれん発生益	3,630	-
持分法による投資損益(は益)	134,295	110,511
売上債権の増減額(は増加)	1,101,497	201,007
たな卸資産の増減額(は増加)	536,347	743,355
仕入債務の増減額(は減少)	1,257,099	751,055
確定拠出年金移行に伴う未払金の増減額(は減少)	616,165	134,190
その他	193,879	171,347
小計	1,715,604	595,290
利息及び配当金の受取額	147,843	154,127
利息の支払額	84,400	82,083
法人税等の還付額	9,278	14,869
法人税等の支払額	232,280	277,859
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,556,044	786,236
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(は増加)	94,185	80,177
有形固定資産の取得による支出	902,158	732,134
有形固定資産の売却による収入	388	378,768
投資有価証券の取得による支出	14,411	15,935
投資有価証券の売却による収入	133	17,155
長期貸付けによる支出	5,485	6,500
長期貸付金の回収による収入	3,970	2,595
子会社株式の取得による支出	2,520	-
その他	7,533	5,667
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,006,735	281,541

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	411,882	19,475
長期借入れによる収入	2,428,455	1,050,000
長期借入金の返済による支出	1,103,983	1,225,751
配当金の支払額	53,945	134,829
少数株主への配当金の支払額	110,880	124,754
少数株主からの払込みによる収入	-	234,284
その他	381	447
財務活動によるキャッシュ・フロー	747,383	220,973
現金及び現金同等物に係る換算差額	173,752	111,216
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,122,940	1,399,967
現金及び現金同等物の期首残高	3,760,773	4,481,554
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,883,714	3,081,586

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,262,645	418,110
減価償却費	738,472	690,642
賞与引当金の増減額(は減少)	231,114	146,381
退職給付引当金の増減額(は減少)	890,414	180,185
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	7,305	12,595
受取利息及び受取配当金	31,551	37,971
支払利息	81,277	82,535
固定資産売却損益(は益)	142	131,002
固定資産除却損	10,338	17,348
投資有価証券売却損益(は益)	-	7,660
持分変動損益(は益)	-	8,032
のれん償却額	18,717	18,717
負ののれん償却額	3,533	2,820
負ののれん発生益	3,630	-
持分法による投資損益(は益)	134,295	110,511
売上債権の増減額(は増加)	1,101,497	201,007
たな卸資産の増減額(は増加)	536,347	684,139
仕入債務の増減額(は減少)	1,257,099	705,775
確定拠出年金移行に伴う未払金の増減額(は減少)	616,165	134,190
その他	193,879	171,213
小計	1,715,604	595,290
利息及び配当金の受取額	147,843	154,127
利息の支払額	84,400	82,083
法人税等の還付額	9,278	14,869
法人税等の支払額	232,280	277,859
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,556,044	786,236
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(は増加)	94,185	80,177
有形固定資産の取得による支出	902,158	732,134
有形固定資産の売却による収入	388	378,768
投資有価証券の取得による支出	14,411	15,935
投資有価証券の売却による収入	133	17,155
長期貸付けによる支出	5,485	6,500
長期貸付金の回収による収入	3,970	2,595
子会社株式の取得による支出	2,520	-
その他	7,533	5,667
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,006,735	281,541

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	411,882	19,475
長期借入れによる収入	2,428,455	1,050,000
長期借入金の返済による支出	1,103,983	1,225,751
配当金の支払額	53,945	134,829
少数株主への配当金の支払額	110,880	124,754
少数株主からの払込みによる収入	-	234,284
その他	381	447
財務活動によるキャッシュ・フロー	747,383	220,973
現金及び現金同等物に係る換算差額	173,752	111,216
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,122,940	1,399,967
現金及び現金同等物の期首残高	3,760,773	4,481,554
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,883,714	3,081,586

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	中国	アジア	欧州			
売上高								
外部顧客への売上高	14,512,089	4,934,598	3,298,324	498,472	736,116	23,979,601	-	23,979,601
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,342,949	4,551	1,128,427	244,390	-	5,720,319	5,720,319	-
計	18,855,039	4,939,149	4,426,752	742,863	736,116	29,699,920	5,720,319	23,979,601
セグメント利益又は損失()	165,342	<u>11,398</u>	451,127	29,101	12,679	<u>338,964</u>	<u>32,533</u>	<u>371,498</u>

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額32,533千円には、セグメント間の未実現損益32,708千円等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	中国	アジア	欧州			
売上高								
外部顧客への売上高	5,247,835	1,594,168	1,141,048	219,237	169,736	8,372,026	-	8,372,026
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,489,125	3,859	376,221	98,852	-	1,968,058	1,968,058	-
計	6,736,960	1,598,028	1,517,270	318,089	169,736	10,340,085	1,968,058	8,372,026
セグメント利益又は損失()	54,666	<u>50,583</u>	141,033	23,632	6,473	<u>263,442</u>	<u>7,979</u>	<u>255,462</u>

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額7,979千円には、セグメント間の未実現損益7,995千円等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

<後略>

(訂正後)

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
当第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	中国	アジア	欧州			
売上高								
外部顧客への売上高	14,512,089	4,934,598	3,298,324	498,472	736,116	23,979,601	-	23,979,601
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,342,949	4,551	1,128,427	244,390	-	5,720,319	5,720,319	-
計	18,855,039	4,939,149	4,426,752	742,863	736,116	29,699,920	5,720,319	23,979,601
セグメント利益又は損失()	165,342	<u>93,246</u>	451,127	29,101	12,679	<u>234,319</u>	<u>32,549</u>	<u>266,869</u>

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額32,549千円には、セグメント間の未実現損益32,724千円等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	中国	アジア	欧州			
売上高								
外部顧客への売上高	5,247,835	1,594,168	1,141,048	219,237	169,736	8,372,026	-	8,372,026
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,489,125	3,859	376,221	98,852	-	1,968,058	1,968,058	-
計	6,736,960	1,598,028	1,517,270	318,089	169,736	10,340,085	1,968,058	8,372,026
セグメント利益又は損失()	54,666	<u>36,993</u>	141,033	23,632	6,473	<u>175,865</u>	<u>7,964</u>	<u>167,901</u>

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額7,964千円には、セグメント間の未実現損益7,980千円等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

<後略>

(1株当たり情報)

(訂正前)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末 (平成22年12月31日)
1株当たり純資産額 995.90円	1株当たり純資産額 1,069.51円

2. 1株当たり四半期純利益金額

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 90.25円	1株当たり四半期純利益金額 14.76円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
四半期純利益(千円)	811,437	132,745
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	811,437	132,745
期中平均株式数(千株)	8,990	8,988

前第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 21.93円	1株当たり四半期純利益金額 28.01円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
四半期純利益(千円)	197,148	251,763
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	197,148	251,763
期中平均株式数(千株)	8,989	8,988

(訂正後)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末 (平成22年12月31日)
1株当たり純資産額 989.27円	1株当たり純資産額 1,069.51円

2. 1株当たり四半期純利益金額

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 90.25円	1株当たり四半期純利益金額 7.76円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
四半期純利益金額(千円)	811,437	69,774
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	811,437	69,774
期中平均株式数(千株)	8,990	8,988

前第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 21.93円	1株当たり四半期純利益金額 22.13円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
四半期純利益金額(千円)	197,148	198,974
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	197,148	198,974
期中平均株式数(千株)	8,989	8,988

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月20日

株式会社ニチリン

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 木村 文彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 矢倉 幸裕 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ニチリンの平成23年1月1日から平成23年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年1月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ニチリン及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成23年11月9日に四半期レビュー報告書を提出した。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。